

主催：読売新聞東京本社

後援：熊谷市教育委員会、埼玉県北部読売会・熊谷支部、

埼玉北部読売会、読売旅行

発行：熊谷市内Y C（読売センター）

埼玉よみうり
The SAITAMA KU YOMIURI

2024年（令和6年）

11月3日（日・祝）

特集号

熊谷市小・中学生新聞感想文コンクール

第十五回 熊谷市小・中学生新聞感想文コンクール 表彰式

主催：読売新聞東京本社

後援：埼玉県北部読売会熊谷支部 熊谷市教育委員会 埼玉北部読売会 読売旅行



「第15回熊谷市小・中学生新聞感想文コンクール」（読売新聞東京本社主催、熊谷市教育委員会、埼玉県北部読売会熊谷支部など後援、審査委員長・読売新聞東京本社熊谷支局長 佐藤秀憲支局長）が、熊谷市内の小学5、6年生と中学生を対象に行われた。

コンクールは、新聞を読むことで社会との関わりを持ち、考える力や文章力・読解力を高めてもらうと2010年から熊谷市内のY C（読売センター）のサポートで毎年開催されている。今回は、小学生の部に193点、中学生の部に51点の応募があった。

10月10日には最終審査があり、新聞記事を読んで感じたことや思いをつづった

力作の数々の中から小学生の部は齋藤友里子さん（熊谷東小6年）、中学生の部には鳥羽美紅さん（三尻中3年）が最優秀賞に輝いた。

10月19日、熊谷文化創造館さくらめいと（熊谷市）で表彰式が催され、受賞者に賞状とトロフィーなどが贈られた。

※掲載した作品は原文を極力尊重しました

最優秀賞（小学生の部）



さいとう ゆりこ
齋藤 友里子さん
(熊谷東小6年)

8月7・8・9日の新聞を読んで考えたこと

「臓器提供について」

私は、最初に2つのグループの写真が目に入った。大谷翔平選手がおくつくれたグループの記事かな？と思ったら、「臓器提供提供家族の物語」とタイトルが書いてあった。この話は3回続く話だったので前の新聞から記事を探した。

この話は、40才のお父さんが突然、脳出血という病気で倒れてしまった。手術をしても、自分で呼吸をすることもできず脳死と言われてしまった。脳死は、もう脳が動かず、これからどんな治療をしても回復の見込みがない。そんな時、自分の臓器を誰かの命を救うために役立てることができ、それが、「臓器提供意思表示カード」へのサインだった。でも、このお父さんはカードへのサインがないため、臓器提供するか家族が判断することになった。そこには、私と同じ小学生の子供がいた。触れば温かいけれど動かないお父さんのことを、私の臓器を元気になる子達につなぎたい。

私は、お母さんに聞いてみた。「もし脳死になったらどうする？」とお母さんは、「使えらるもの全部使って」と言った。そうならないようにまだまだ元気な私に私と過ごしてもらいたい生きている。

最優秀賞（中学生の部）



とば みく
鳥羽 美紅さん
(三尻中3年)

八月三日の読売新聞を読んで感じたこと、考えたこと

人間と未来をつなぐAI

現在の世界では、インターネットが普及し、言語や文化の違いを超えて交流を深めることができ、とても便利だと感じる機会が多々ある。特にChatGPTなどAIの進歩が目覚ましく、利点とこれからに向けての課題が目立ってきているように感じる。

私がよく利用している動画配信アプリを見ていた時にAI音声で歌っている動画があった。それはあるアーティストの声をAIが認識し、AIがその声で歌っている動画だった。私はそれを見て、本当に必要なのだろうかと思った。その動画は私たちが視聴者が見たいだけであって、アーティスト側はやってほしいと思っ

てるのか、そのような動画に対してどう感じているのか分からないし、それをAIだと知らずに信じてしまう人がいるかもしれないからだ。さらにAIが得意とする画像認識や音声認識が活用されて、多額をだまし取る詐欺も発生してきていて、またAIの安全性は低いといえる。そして本人の声でしか伝わらない思いがあるからこそそこに価値や誇りが見いだされるのではないだろうか。

また、課題となるのは「人権侵害」だ。現在では、AIを用いて人材採用を行っている企業も多く存在している。そのような中で「人材採用でAIが女性差別をした」という記事を読んだ。インターネットで見つけた。その企業では、応募者を五段階でランク付けするシステムだった



読売新聞東京本社
熊谷支局
佐藤 秀憲 支局長

15回目を迎えた今回、240人を超える児童、生徒の皆さんから応募いただきました。受賞された皆さん、おめでとうございます。保護者や先生方の協力にも、深く感謝申し上げます。

募集がバリエーションの時期に重なり、五輪に関する作品が目立ちました。また、ロシアによるウクライナ侵襲、パレスチナ自治区ガザで戦闘が続く中、戦争と平和に関する作品も多く寄せられました。

小学生の部で最優秀賞に選ばれた齋藤友里子さんは、臓器移植の記事に注目して、小学6年生ながら難しいテーマについて深く考え、それを表現する知性が光りました。

中学生の部で最優秀賞に輝いた鳥羽美紅さんは、人工知能（AI）の記事を取り上げ、その利便性や課題をまとめた。最先端の技術に関する知識や確かな考察が評価されました。

今はスマホ一つあれば、だれでも情報の発信者になれる。ネットには偽りの情報もたくさん流れています。新聞は事実を丹念に確認し、真実を突き詰め、本物の情報を伝えるべく絶え間ない努力をしています。正確な情報を得る手段として、これからも新聞をご活用いただければと思います。



熊谷市教育委員会
野原 晃 教育長

今年も熊谷市小・中学生新聞感想文コンクールに素晴らしい作品が数多く応募されました。どの作品も新聞記事とおして社会に目を向け、小・中学生の視点から豊かな言葉で自身の考えを表現しています。小学生最優秀賞の齋藤さんは、臓器提供について考えました。家族が脳死と判定されたとき、その臓器を提供するか。私たちが大人でも悩んでしまうテーマに、齋藤さんは、自分自身と重ね合わせながら思いや考えを表現できました。家族とは、命とは、と、深く考えさせられました。

中学生最優秀賞の鳥羽さんは、AIの法規制について考えました。AIの進歩は目覚ましいものがありますが、課題も多く、法規制が議論されています。鳥羽さんはAIの利点や課題を実生活と結びつけながら比較し、まとめています。そして、「人間にしか力を出せないものを大切にしていきたい」と力強く述べています。

小・中学生の皆さん、これからも進んで新聞を読み、身の回りの出来事と自分自身とを結びつけてください。そして、これらの社会の担い手として、自分に何ができるのかを考えてみてください。

小学生向け新聞 発行部数No.1! (日本ABC協会 2022年7月)

読売KODOMO新聞
毎週木曜日発行
タブロイド判(20ページ)オールカラー
特別協力: 小学館 協力: 毎日新聞

家計にやさしい月額550円! (税込)

家庭学習に最適!! ニュース、図解特集、マンガ、学習コーナーなどが充実し、親子で楽しく読めます。

ウィークリー学習シート
読売KODOMO新聞を読み解きながら時事ニュースが学べる! 読売新聞オンラインで無料公開中!

マンガページ111 ぐわしくはコチラ

読売KODOMO新聞

読売KODOMO新聞

読売KODOMO新聞
6・2年
タブロイド判(20ページ)オールカラー
特別協力: 小学館 協力: 毎日新聞

読売KODOMO新聞

読売KODOMO新聞

読売KODOMO新聞
6・2年
タブロイド判(20ページ)オールカラー
特別協力: 小学館 協力: 毎日新聞

読売KODOMO新聞

読売KODOMO新聞

読売KODOMO新聞
6・2年
タブロイド判(20ページ)オールカラー
特別協力: 小学館 協力: 毎日新聞

読売KODOMO新聞

中学生向け新聞 発行部数No.1! (日本ABC協会 2022年7月)

読売中高生新聞
毎週金曜日発行
タブロイド判(24ページ)オールカラー
特別協力: 小学館

断然お得月額850円! (税込)

10代にとって必要な情報をぎゅっと凝縮! 最新ニュースからエンタメ情報まで、勉強や部活に忙しい中高生でも気軽に読めます。

時事王
JULY - KING
毎月第1週は、テストに役立つ時事ワードが学べる「時事王」がついてくる!

読売中高生新聞